

【宮城県仙台市】【宮城労働局マザーズハローワーク青葉】

子育て中の方の不安解消を目的にセミナーを実施

【課題・目的】

就職活動の気持ちはあっても、子供の預け先に対して不安を持っている子育て中の方を対象とし、預け先の状況と就活の進め方の説明を同時に行うことで、就職に対するイメージを明確化するもの。

【実施概要】

セミナーにおいて、以下の内容を実施

- ◆子育て中の求職者を対象に保育所の入所情報（申込や保育所の一日の流れなどの説明）
- ◆過去の職歴・資格等の就職に向けての棚卸（自己整理）、働く目的、働ける時間、休日等（条件の明確化）の整理

【役割分担】

【仙台市】

- ◆認可・無認可の違いや保育所以外の預け先の説明
- ◆保育料の負担軽減制度や待機児童ゼロに向けた取組の説明
- ◆保育所の一日の生活の流れの説明

【ハローワーク】

- ◆就職に向けた準備や就職の進め方の説明
- ◆求人票の見方や最低賃金制度など、より具体的な情報の提供
- ◆局ホームページ及びハローワーク窓口で求職者へ周知

【効果】

- ◆参加者の声
「保育所以外にもいろいろな選択肢があることがわかり、大変参考になった。」
「直接、仙台市の担当者の話が聞けて、信頼・安心できた。」
- ◆マザーズハローワーク青葉が仙台市と一体となりセミナーを実施することで、子育てしながらの就労する不安の解消を図ることができた。

《開催実績》

- ・参加者数 24名（平成25年度）
- ・仙台市と連携したセミナーは、平成20年度から毎年開催（年1回）。



《マザーズハローワーク青葉のセミナー風景》

＜仙台市コメント＞

子育て中の方が、求職しながら、区役所等で保育の情報収集をすることは難しい場合も想定される。そのため、利用者のニーズにあった情報提供をきめ細やかに行うという点で、マザーズハローワーク青葉との連携は効果的と考える。

＜労働局コメント＞

子育て中の方が働くという場合には、就職先と子供の預け先を同時に探さなくてはならず、仙台市（保育所等の情報）とマザーズと一緒にセミナーを行うことで、その不安を解消できる。



【群馬県太田市】【群馬県】【太田商工会議所】【群馬労働局ハローワーク太田】

地域との連携により 「子育て支援就職面接会 in おおた」 を開催！

【目的】

子育てしている方々へ就職する出会いを提供し、また、子育てしている方々を受け入れるため、事業主の意識改革を図る

【実施概要】

清水太田市長の「女性の社会進出を支援」という新たな政策が発端となり、ハローワークが発案して「太田市」、「群馬県」、「太田商工会議所」、「ハローワーク」の4団体の連携により、3月14日（金）に「子育て支援就職面接会」を開催した。

会場は、面接コーナーの外に、メイクアップ相談、キャリアアップ（職業訓練）、福祉のお仕事相談、保育園相談などの相談コーナーを設置し、また、ゆるキャラ「おおたん」や「ぐんまちゃん」との記念撮影コーナーも設け、地域の状況に応じた盛大な子育て支援としての就職面接会となった

なお、今回の面接会を通じて、ある新聞社の支局長からは、「この事業は、うちも支援させて頂きたいので大きく取り上げました。」という言葉もあり、国、地方公共団体、関係団体、プラス報道機関という新たな連携が生まれ、今後の行政運営のひとつの方向性が見えてきたように思える



主催者を代表して清水太田市長が挨拶



賑やかなキッズ預かりコーナー

【役割分担】

【太田市】

- ◆児扶手当受給者に参加要請
- ◆市広報での周知
- ◆おおたんの提供 など

【群馬県】

- ◆ぐんまちゃんの提供 など

【太田商工会議所】

- ◆会場提供
- ◆会報での周知 など

【ハローワーク】

- ◆運営企画全般
- ◆求職者への参加要請
- ◆関係団体との連絡調整
- ◆マスコミ、広報対応 など

【共通】

- ◆参加企業要請のための事業所訪問
- ◆相談コーナー担当 など

＜太田市コメント＞

太田市として、独自の雇用対策が何か出来ないか悩み続けてきたが、今回の子育て支援のための就職面接会は「モノづくりの街 おおた」にマッチしたものであり、また、関係機関が連携することの重要性を痛感した

＜太田商工会議所コメント＞

全国でも稀な就職面接会を開催し、全国の会報にも紹介され、本当に満足するイベントを開催することができた

【結果】

参加企業15社に対して求職者144人、子供さん73人が参加し、24人の参加者が就職に結びついた。

＜事業所アンケート＞

- ◆まず、就業希望者の多さに驚きました。今回の企画は、企業側、求職者にとっても意義ある面接であったと感じました
- ◆「子育て支援」の趣旨には賛同しますので、今後、今日の経験を生かしていきたいと思えます

＜参加者アンケート＞

- ◆子供を預けて面接に集中できたことが本当に助かりました。とても良い機会を提供して頂き有難いです
- ◆様々な企業が集まっていて気軽にお話を伺えて良かったです。今後も定期的に、このような面接会があればと思います



参加要請を行う太田市（左側）、商工会議所幹部（右側）、根岸ハローワーク所長（中央）

〈照会先〉 群馬労働局職業安定部職業安定課(TEL:027-210-5007)

【長野県】【長野労働局ハローワーク長野マザーズコーナー】 長野県と長野マザーズコーナーとの連携により、 子育て中の女性に対する就職支援を実施

【課題・目的】

子育て等により離職した女性は再就職や育休復帰後の就業に悩みや不安を抱えており、そのような子育て中の女性に対し、ハローワークと県が連携して保育や就職等についての情報提供・相談を行うとともに、就職支援セミナー、職業紹介を一貫して行うことで、子育て中の女性の就職促進を図る。

【実施概要】

長野マザーズコーナー（ハローワーク長野外部施設）に隣接する県の施設（ジョブカフェ信州）に県の「子育て女性の就業促進事業」により女性就業アドバイザーが配置され、マザーズコーナー利用者の希望に応じ、同アドバイザーがマザーズコーナーの専用窓口に移動し、県の施策に基づく各種情報の提供や相談を実施。また、ハローワークと県が連携し、子育て女性のための就職支援セミナーをマザーズコーナーにおいて月1回程度開催。

【役割分担】

【長野県】

- ◆マザーズコーナー利用者に対する女性就業アドバイザーによる就業相談
- ◆県の独自サービス等に関する情報提供、県システムへの利用登録
- ◆就職支援セミナーの企画、開催

【ハローワーク】

- ◆マザーズコーナー利用者に対する職業紹介・相談
- ◆県のアドバイザーに対する相談窓口の提供
- ◆就職支援セミナーの企画、受講者のための託児契約の締結

【効果】

- ◆県のアドバイザーがマザーズコーナーで直接支援を行う等の機動的な対応により、国と県の就職支援をワンストップで受けることができ、利用者のサービス向上につながっている。
- ◆セミナーの定期開催により、就職のための知識習得の機会が増大している。県及び国の事業について、相互利用が見込まれる。



就職支援セミナー実施風景

＜長野県コメント＞

女性の就業促進は当県における重要施策の一つであり、県と国が一体となって、女性一人ひとりのニーズに沿った対応をとることで、就職に結び付けていくことを期待したい。

＜労働局コメント＞

マザーズコーナー内での県のサービス提供は、求職者への情報提供の幅が広がり、セミナー開催数が増大することと合わせ、国の就職支援サービスとの相乗効果が生じている。

【静岡県掛川市】【静岡労働局 ハローワーク掛川】 市が目指す障害者の500人就業に向け、障害者雇用の特化した協定を締結！

【課題・目的】

掛川市は、平成25年度から平成28年度末までに、就業を希望する**掛川市内の障害者を新規に500人就業させることを目指しており**、「障害者新規就業500人サポート事業（※1）」など、掛川市独自の障害者就業推進事業を推進。

この目標に向け、市と国が強力で連携を進めていくこと等を目的に、**障害者に特化した「障害者雇用の推進に関する協定」（※2）**を締結。

※1 本事業について、掛川市では実施に係る理念を明確化し、事業の方向性や取り組むべき事項等を明らかにするため、平成28年3月に「**障がいのある人の「働きたい」をかなえる条例**」が制定された。

※2 平成27年12月に市長と労働局長で締結した「**掛川市雇用対策協定**」の中に盛り込まれている「**障がい者の雇用対策の推進**」を掘り下げるもの。締結主体は掛川市福祉事務所長と掛川公共職業安定所長。

【実施概要】

「障害者雇用の推進に関する協定」に基づき、以下の取組を実施。

※ 協定により「500人就業」という共通の目標を立てるとともに、そのための達成手段を体系的に整理することで**行政のマンパワーを効率よく最大限発揮することが可能になる**。

- ① 掛川市が取り組んでいる「**障害者新規就業500人サポート事業**」の相談者を就職・就業等に繋げるため、掛川市とハローワーク掛川が連携しつつ、「**チーム支援**」制度を活用して**就職から職場定着までの一貫した支援を実施**。
- ② **掛川市をはじめ福祉・教育機関等との連携による就業支援・定着指導等を実施**
 - ◆ 求人情報の提供、職業相談・職業紹介、職業訓練のあっせん、求人開拓等を実施
 - ◆ 障害者ミニ就職面接会や就業支援セミナー等の開催（年2回共同で開催）
 - ◆ 事業所への障害者雇用の理解促進・定着指導（共同で事業所訪問を月2回程度実施）等

【役割分担】

【掛川市】

- ◆ HPや広報等による周知
- ◆ 「500人サポート推進室」（市役所内に設置）で障がい者との相談を実施
- ◆ ハローワークへの同行訪問による支援
- ◆ ハローワーク職員との事業所訪問
- ◆ 就業支援セミナーの企画 等

【ハローワーク】

- ◆ チーム支援により「**障害者就業支援計画**」を作成
- ◆ 求人情報の提供、職業相談・紹介
- ◆ 訪問事業所の選定や訪問時の法定雇用率達成指導・助成金制度等の周知
- ◆ ミニ就職面接会の企画 等

【効果】 障害者就業件数（目標）145件（平成27年度）

障がい者就業推進条例

市における障害者施策の
目指すべき方向性を規定

雇用対策協定

若年者 障害者 生活
困窮者

より詳細に規定

障がい者雇用の推進 に関する協定

<掛川市コメント>

「障がい者が自立して生き生きと生活できる環境づくり」を進める中で、「障がい者新規就業500人サポート事業」を実施することにより、障がい者の働きやすい環境づくりや障がい者雇用への理解や認識が深められる。

<労働局コメント>

地域における社会的責任の観点から、障害者雇用の促進に向け、相互に連携して就業支援を図ることは重要。

また、「掛川市で実施する生活支援や自立に向けた総合的支援」と「国が実施する雇用支援」に連携して取り組むことにより、企業等の障害者雇用への理解と認識が深まるとともに、障害者の抱える様々な課題への総合的な支援が可能になった。

【愛知県新城市】【愛知労働局ハローワーク新城】 自治体の広報制度を利用した潜在求職者へのアウトリーチ事業

【課題・目的】 出産・育児等で職を一旦離れた方達への託児付きの就労支援事業

【実施概要】 ■第1回 1/21~1/23 新城市生涯学習センターちさと館にて開催
■第2回 3/10~3/12 鳳来中央集会所にて開催

2回とも初日の午前中は就職支援セミナーとしてあいちマザーズハローワークの就職支援ナビゲーターが講師を務め、今後の将来設計及び就職にあたっての心構え等を説明。
初日の午後から最終日までは、民間委託したパソコンセミナーの講師による実技講習。

【役割分担】

【新城市】

- ◆市民福祉部こども未来課を窓口とし、メール登録をしている未就学児のいる1600世帯へのセミナー（臨時号）の案内
- ◆広報紙への掲載

【ハローワーク】

- ◆会場の選定と借上げにかかる手続き
- ◆セミナー講師の依頼
- ◆管内自治体の広報紙掲載の依頼
- ◆求職者への積極的な呼び掛け
- ◆リーフレット作成
- ◆HPでの案内

【効果】

- ◆受講希望者30名（欠席者3名）のうち15名が新規登録
- ◆第1回開催時の求職者14名の内3名が就職決定
- ◆第2回開催時の求職者13名のうち3名が4月開講の公共訓練「パソコン・事務マスター科」を受講予定



<新城市コメント>

男女共同参画事業の一環として女性の社会進出の手助けとなるようにバックアップをしていきたい。今後も継続して連携をする。

<労働局コメント>

託児付のセミナー等を増やし、就職への意欲と関心を高め、女性の労働力が地域社会に反映されることを期待しています。山間地域の方から継続してセミナーを開催してほしいとの要望もいただいています。

【愛知県名古屋市】【愛知労働局あいちマザーズハローワーク】 子育て中の方のための託児付き保育情報セミナーの実施

【課題・目的】

子育てと就労を両立するうえで必要な保育の情報をセミナーとして行うことで、不安や疑問を払拭し前向きに就職活動を進めることを目的に開催

【実施概要】

名古屋市子ども青少年局保育部保育運営課の職員を招いて、セミナーを開催し、平成26年度の保育所状況や平成27年度の入所申込みについて情報提供。なお、来年度についても受付が始まる10月近辺を目途に2回実施予定。

【役割分担】

【名古屋市】

セミナー内容の企画及び資料作成、講師の派遣、質疑応答への対応等

【ハローワーク】

セミナーの企画・提案、申込み受付、セミナー・託児会場の提供、リーフレットの作成等広報活動

【効果】

申込者30名（うち託児希望23名・子23名）、受講者15名（うち託児12名・子12名）となり、受講者のうち就職者は3名で、いずれも託児希望者であった。



＜名古屋市コメント＞

当該セミナーを通して保育所の状況などの理解が深まることは有意義な機会であったと考えています。

＜労働局コメント＞

定員を超える申込みがあったため、受講及び託児の定員を増員し対応したが、それでも倍の方の申込みがあったことで当該情報への関心の強さが伺われました。

【愛知県豊明市】【愛知労働局ハローワーク名古屋南】 地域の中核産業の人材確保のため、共同事業として「女性のための再就職サポートセミナー」を実施

【課題・目的】

子育て中の女性等、潜在する女性労働力の活用を図るため、働きに出ることに伴っての不安、阻害要因の払拭のための支援を目的としたもの

【実施概要】

豊明市内に在住する女性を対象として、安定所就職支援ナビゲーターによる、2部構成（1部：就職活動における「自分」を知る、2部：就職活動に必要な知識や情報を知る）のセミナーを実施。

【役割分担】

【豊明市】

- ◆ 会場の確保
- ◆ 市役所各部署、並びに広報を利用した市民への周知
- ◆ 申込み受付

【ハローワーク】

- ◆ ハローワークを利用する市内在住者に対し、あらゆる機会（郵便を含む）を利用した周知
- ◆ 講師の派遣
- ◆ 申込み受付



＜豊明市コメント＞

セミナー参加者はみんな熱心に耳を傾けていたので、今回聞いたことの多くが彼女たちの再就職の手助けになったと思います。

＜労働局コメント＞

自治体における広報は、広く市民に伝達でき、潜在求職者の掘り起こしに有効であるため、今後も連携を強化したい。

【効果】

- ◆ 参加者数：11名（25歳～52歳）
- ◆ 就職意識の構築のほか、就職への不安や阻害要因の払拭を図るためのサポートメニューを紹介。安定所情報や専門員の助言の積極的に活用するよう周知することができた。

【三重県】【(一財)三重県母子寡婦福祉連合会】【三重労働局ハローワーク津】 ひとり親家庭等の支援を強化するため、情報共有を強化

【課題・目的】

県内のひとり親家庭等福祉関係者が**一同に会する**「三重県母子寡婦福祉指導者研修会（三重県母子寡婦福祉連合会開催）」（年1回開催）において、ハローワーク津・三重県の**各施策を関係者と情報共有・意見交換**することにより、地域におけるひとり親家庭等支援機関の連携を深めていく。

※県の施策：三重県ひとり親家庭等自立促進計画に基づく支援事業（研修事業・生活・就業支援等）

国の施策：マザーズHW事業及び生活保護受給者等就労自立促進事業等

母子寡婦福祉連合会の施策：三重県受託・委託事業（研修事業・生活・就業支援・相談・紹介等）

※ 意見交換等を通じ、県・国が行う施策の理解を図る。また、互いに連携できるところがないか等の話し合いを実施し、連携強化につなげることができる。

（意見交換により具体的に開始した取組・見直した取組）

- ・県が行うセミナーに対し、国が求職者に積極的に参加勧奨を行うこととした。
- ・県が2月に開催する「ひとり親就活フェア」に、三重労働局として後援を行い、各ハローワークで周知・誘導を実施することとした。
- ・3月にハローワーク松阪管内の地域で「ひとり親支援に係る研修会」を開催することとした。

【役割分担】

【三重県】【三重県母子寡婦福祉連合会】

- ◆企画立案・打合せ会議・当日の運営等
- ◆県の施策説明とパネルディスカッションのパネラー

【ハローワーク】

- ◆マザーズHW事業及びひとり親就労支援事業等の周知
- ◆所長による全体挨拶
- ◆統括職業指導官による講演とパネルディスカッションのパネラー

【効果】

- ◆三重県・（一財）三重県母子寡婦福祉連合会が事業を幅広く関係者（112人）に周知し、ハローワークの事業も情報共有が進んだ。
- ◆三重県・三重県母子寡婦福祉連合会・ハローワークとの連携が強化され、今後支援の拡大が期待できる。
- ◆支援が必要な方に情報が届き、関係機関の利用が促進される。



研修会開催地の地元市長挨拶

＜三重県コメント＞

ひとり親家庭の就労支援と子育てママ等の就労支援について、関係機関等で考える機会となり、三重県が実施予定の事業とも連携して行く良い事例となった。

＜労働局コメント＞

母子家庭の母等の支援は、関係機関が複数あるが、そういった機関の力を合わせることで相乗効果を生むことが重要。

そのためには、まず定期的に情報共有・意見交換をすることが必要であり、この取組はそういった場として機能している。

【大阪府堺市】【大阪労働局ハローワーク堺】 地方自治体と民間企業が実施する子育て支援サービスとマザーズハローワーク 事業の連携による子育てと仕事の両立支援を実施

【課題・目的】

子育て支援サービスを提供することにより、子育ての孤立化を防ぎ、子育てに関する不安感や負担感を軽減するとともに、幅広い層の市民が利用しやすく親しまれる子育て支援の場を提供し、子育てと仕事の両立に関する支援を実施する。

【実施概要】

堺市と民間企業が共同で実施する子育て支援サービスと、堺マザーズハローワークが実施するマザーズハローワーク事業を連携して子育て女性に対する支援を充実させる。

【役割分担】

【堺市】

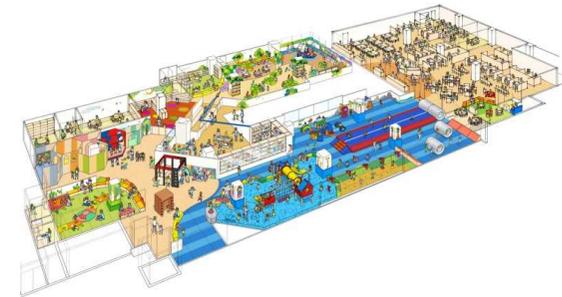
- ◆ 子どもと保護者等の集い・憩い・交流の場の提供
- ◆ 絵本コーナーの提供
- ◆ 子育て相談・発達障害児支援
- ◆ 子育て支援イベントの実施
- ◆ 親子の室内遊び場の提供
- ◆ イベントスペースの運営 等

【ハローワーク】

- 子育てをしながら就職を希望している方に対する
- ◆ 担当者制による職業相談
 - ◆ 地方自治体との連携による保育所等の情報提供
 - ◆ 仕事と子育ての両立がしやすい求人情報の提供 等

【効果】

- ◆ 地方自治体・民間企業・国、それぞれの特徴を活かし、充実した周知広報の実施
- ◆ 3者が運営する施設を活かした、共同イベントの実施



<堺市コメント>

国の労働関係機関と自治体、民間企業がこのような形で連携して子育てを支援する取組は、全国でも他に類いを見ないものです。「子育てのまち・堺」の実現に向けて、今後より一層連携を強化していきたいと考えています。

<労働局コメント>

子育てをしながら就職を希望される方に対する就職支援を行うマザーズハローワークと、子育て支援拠点である「キッズサポートセンターさかい」を利用される対象者が同一であることから、相乗効果により、双方の利用活性につながるものと考えています。

【大阪府堺市】【大阪労働局堺マザーズハローワーク】 子育て中の求職者に 市の「保育関連情報の提供」と国の「就職準備セミナー」を共同実施

【課題・目的】

子育て中の求職者においては、保育所入所に不安を抱いている方が多い。

市が持つ保育関連情報と国が持つ就職準備に必要な情報をワンストップで提供することにより、子育て中の求職者の不安の解消と就職意欲の向上を図る。

【実施概要】

子育て中の求職者に対して、これから就職を目指すために必要な知識を伝えるため、**国が就職準備セミナー**を開催。同時に、**市が保育所入所にかかる手続き等の説明を行い**、早期に就職が実現できるよう手助けも行った。

※ セミナー実施後、個別相談も実施

※ セミナー内容については、事前に国と市が意見交換し、ワンストップ支援が実現できるよう調整

【役割分担】

【堺市】

保育関連サービスの情報提供

- ◆ 認定こども園について
- ◆ 保育所について
- ◆ 地域型保育事業について
- ◆ 保育所の利用状況について等

【国】

就職準備セミナー

- ◆ 再就職のための準備
- ◆ 最近の雇用失業情勢
- ◆ 自己分析
- ◆ 職業理解・決定
- ◆ 意見交換会 等

【効果】

- ◆ 参加者 13名 参加者のうち職業相談後、就職できた方 3名
- ◆ 新たな保育サービスを早期の段階で知っていただくことにより、就職準備を整え、就職活動に向けた意欲の喚起を行い、早期の就職促進を図ることができた。
- ◆ アンケート結果においては、平成27年4月改正の保育所入所に係る説明と就職活動の説明を、同時に聞いたことに対し、高く評価する求職者が多かった。



＜堺市コメント＞

子育てをしながら再就職を希望される方に堺市の保育施設の選び方や申込み方法などの情報を提供し、仕事探しとお子様の預け先を見つける際のノウハウをお伝えさせていただきました。引き続き、労働局との連携の強化をはかり「子育てのまち・堺」の実現をめざしていききたいと思います。

＜労働局コメント＞

国が持つ就職支援のノウハウと、市が持つ保育関連情報を一体的に提供することで求職者の持つ悩みを同時に解消することができました。

また、共同実施にあたり、国側の保育関連サービスの知識が向上するなどのメリットも感じました。

引き続き、連携を強化し、よりよいサービスを提供していききたいと思います。

＜照会先＞ 大阪労働局職業安定部職業安定課 (06-4790-6300)

【大阪府交野市】【大阪労働局ハローワーク枚方】 子育て中の方等を対象に、再就職の意欲喚起等を目的とした 「子育てママの就活準備セミナー」を実施

【課題・目的】

子育て中の方で再就職を目指す方、今後子育てをしながら就業を希望する方に対し、再就職の意欲喚起、再就職に向けた不安の払拭を図るとともに、マザーズコーナーの利用促進を目的に実施した。

【実施概要】

子育てママの就職活動セミナー

○ハローワーク枚方マザーズコーナー

・応募書類の書き方・面接の受け方、採用のポイントについて

○交野市 健やか部こども園課

・交野市の子育て支援施策について

【役割分担】

【交野市】

- ◆会場の確保
- ◆セミナー講師
- ◆周知・広報

【国】

- ◆セミナー講師
- ◆周知・広報
- ◆託児サービスの設置

【効果】

- ◆ 参加者数 15名
- ◆ 市の施策とハローワークのセミナーを併せて実施することで参加者から好評価
- ◆ より一層の連携体制の構築



＜交野市コメント＞

ハローワークと連携することで、子育て女性に対する効果的なセミナーが実施できたと感じています。今後とも子育て女性に限らずハローワークと連携し、地域における就労支援事業の充実を図っていきたいと考えています（交野市地域社会部人権と暮らしの相談課）。

＜ハローワークコメント＞

交野市と連携し、市の施策とハローワークの再就職セミナーを併せて実施することで、参加者の知りたい情報を一元的に提供できました。また、セミナーの調整の中で国側の知識が向上するなどのメリットも感じました。今後とも連携を深め、利用者ニーズに沿った取り組みを進めていきたいと考えています。

【大阪市立淀川図書館】【大阪労働局ハローワーク淀川】 子どもと一緒に図書館のイベントを楽しみながら 就職支援が受けられる「教えて!ハローワーク」を共同開催

【課題・目的】

図書館で実施するイベントと共催することにより、乳幼児連れで参加しやすい内容とし、子育て世代の就職支援に繋げることを目的として開催。

【実施概要】

子供と一緒に、保護者が気軽に就職について考えることができるように、本の読み聞かせや手遊びとともに、ハローワークの利用案内、就職支援内容の説明、及び就職活動のアドバイスを実施。「子供と一緒に参加可」「途中入退場OK」とし気軽に参加できるよう企画。

【役割分担】

【大阪市立淀川図書館】

- ◆本の読み聞かせや手遊び
- ◆図書館の利用案内
- ◆淀川区の子育て支援に関する情報提供
- ◆子育て支援センター等への周知依頼
- ◆リーフレット作成 等

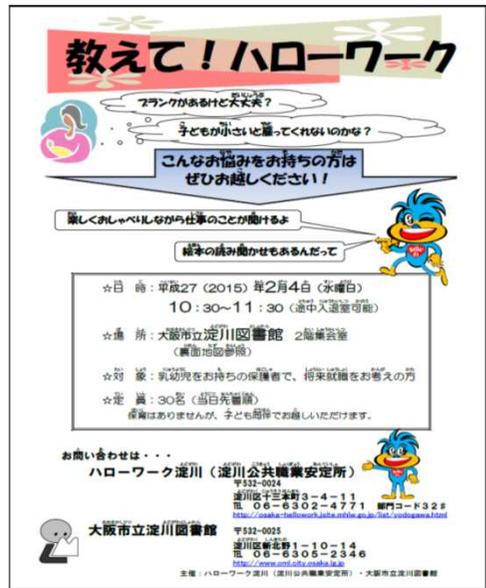
【ハローワーク】

- ◆ハローワークの利用案内
- ◆就職支援内容の説明
- ◆就職活動のアドバイス
- ◆求人情報、職業訓練情報の提供
- ◆管内自治体等への周知広報 等

【効果】

- ◆参加者数9組。ハローワークを利用したことのない方の参加もあり、子どもと一緒にあって、保護者が就職について考えることができ、子育て世代の就職支援に貢献できた。
- ◆淀川図書館との共催に注目が集まり、テレビ放送（NHK）される等、地域サービスの普及にもつながった。

《照会先》 大阪労働局職業安定部職業安定課 (06-4790-6300)



＜大阪市立淀川図書館のコメント＞

今回の事業は、大阪市初の連携事業として、互いのノウハウを活かす取り組みができました。各地域図書館では、「しごと支援コーナー」を設置し、就職や起業に役立つ資料を収集・提供しています。今後も各区の実情に応じた地域施設との連携・協力を進め、地域の多様な課題解決を支援します。

＜労働局のコメント＞

図書館との連携は、大阪府内初の試みで、これまでハローワークを利用したことがない方へも、就職支援の手を差し伸べるきっかけ作りとなりました。引き続き、地域の関係機関との連携を強化し、地域サービスの向上を目指していきたいと思っております。

【大阪市港区】【大阪労働局大阪マザーズハローワーク】 児童扶養手当受給者等への就労支援を図るため、 港区と連携し、「夜間相談会」を実施

【課題・目的】

シングルマザー等は、就労時間に制約があるケースが多く**家計の問題から就職までの相談を一体的に行う必要がある**。また、収入面等から転職希望の在職者も多いため、**夜間での相談が必要**である。そこで、児童扶養手当支給や子育て支援を担当する区役所とハローワークが連携し、シングルマザー等に対して、幅広い分野の相談会を夜間に実施。

【実施概要】

「ファイナンシャル・プランナーによる家計改善相談」「就職・転職相談」「自立支援相談」「子育て支援相談」「子育て情報提供」等について区役所とハローワークが協力して夜間相談会を開催。（17時～20時）

※周知にあたっては、児童扶養手当の現況届の郵送の際と一緒に案内を送付。

【役割分担】

【大阪市港区役所】

- ◆会場設営・運営・会場借上
- ◆周知・広報（区民だより・メルマガ・ポスティングなど）
- ◆子育て支援相談
- ◆自立支援相談

【ハローワーク】

- ◆会場設営・運営
- ◆周知・広報（LINE・ホームページなど）
- ◆職業相談
- ◆ファイナンシャル・プランナーによる家計相談

【効果】

- ◆参加者10名、参加した人のうち職業相談に移った者3人
- ◆「とても役立った」「遅い時間まで対応してもらえたのが良かった」等の声をいただき、アンケート結果からも満足度100%と回答を得ることができた。
- ◆区と一体で実施することにより、児童扶養手当受給者等への就労支援が効果的に行えた。

《照会先》 大阪労働局職業安定部職業安定課（06-4790-6300）



＜大阪市港区コメント＞

シングルマザー等の「働く」を徹底的に支援するため、平成26年8月からハローワーク大阪西・大阪マザーズハローワークと連携して、「シングルマザーズ応援！ディーセントワークプロジェクト」を展開するなかで、叱咤激励をいただきながら、シングルマザー等のニーズに適った相談会を共催でき、また普段の仕事だけでは得られない貴重な体験をさせていただき、嬉しい限りです。

＜労働局コメント＞

港区役所は子育て支援や自立支援相談、大阪マザーズハローワークは職業相談等、それぞれ役割を分担し、連携しながら相談会を実施することができました。

児童扶養手当受給者等の支援のためには 生活から就労まで一体的に行うことが効果的なので、今後も引き続き連携を進めていきたいと考えています。

【奈良県橿原市】【奈良労働局ハローワーク大和高田】

子育て女性に対して、セミナー・面接会を共同開催

【課題・目的】

- ◆ 全国最下位にある奈良県の女性就業率の向上を自治体と共に目指す。
- ◆ 子育て中の女性が安心して職場に進出するために必要な環境整備について、周知等を行う。

【実施概要】

- ◆ 市の施設においてこども未来課と共に子育て女性への就職セミナーを開催。セミナー開催中は施設内で保育一時預かりサービスを提供。セミナーに集中できる環境に。
- ◆ 子育て女性に向けた面接会を人権政策課(男女共同参画担当)と共同して実施。

【役割分担】

【橿原市】

- ◆ セミナー・面接会の周知
- ◆ 会場の確保・設営
- ◆ セミナー中の託児サービス
保育所情報等の情報の提供

【ハローワーク】

- ◆ 応募書類の作成方法
- ◆ 面接の心構え
- ◆ 求人の確保と面接会の開催

【効果】

- ◆ 働くための準備、家庭内での協力関係の作り方、仕事と家庭のバランス、市の実施サービスの理解が図れた。
- ◆ 面接会では、5件の求人に対して13名応募、就職2人



＜橿原市コメント＞

子育て女性の職場進出と市民サービスのリンクが理解されやすいため、今後も継続していきたい。

＜労働局コメント＞

参加者からは好評であり、女性の能力活用のため、他の自治体への開催を拡大していきたい。

【山口県下関市】【山口労働局ハローワーク下関】 子育て女性等への就業支援を目的に、 「ママのための就活プロジェクト」を共同実施

【課題・目的】

出産・育児等を理由として離職している子育て女性等に対して、職業紹介・雇用対策等を行うハローワークと、地域の実情に応じた子育て支援等の各種対策を行う下関市が、一体的な支援を連携して実施することにより、求職活動を躊躇している方や再就職への不安を感じている方への後押しとなることを目的として実施。

【実施概要】

下関市において、**次世代育成支援拠点施設「ふくふくこども館」**が平成26年4月にオープンし、市民の交流と子育て支援の拠点施設と位置付けられた。そのため、子育て女性等を対象に2ヶ月に1回、職業紹介・雇用対策等を一体的に行う国と、地域の実情に応じた各種対策を行う市が連携をし、「**ママのための就活プロジェクト**」を開催。

子育て女性等の**再就職準備セミナー**の開催や、ハローワーク下関マザーズコーナーの**出張相談**に合わせて、子育て女性等が集まりやすい**イベント**（チェキ撮影や紙芝居など）により集客を図り、就業に関する**意向調査**（就職時期や希望職種等を把握し、今後の支援事業の内容を検討）や**適職診断**ブース等を設置して、「今すぐ働きたい」、「いずれ働きたい」方の就業に向けた支援を実施。 ※マザーズコーナーの出張相談については、平成26年8月から毎月実施。

【役割分担】

【下関市】

- ◆ 会場の確保・各種イベント準備
- ◆ 市民への周知
(市報、HP掲載、ポスター・リーフレットの作成)
- ◆ 適職診断
- ◆ アンケート調査（意向調査）

【ハローワーク】

- ◆ 求職者への周知
- ◆ セミナー準備
- ◆ マザーズコーナー出張相談

【効果】

- ◆ 下関駅前にある「ふくふくこども館」には、就学前の子どもの遊び場であるプレイランドや、子ども一時預かり室などがあり、子育て中の女性など多くの方が利用する施設において実施することで、働きたいと考えている女性等への後押しを行うことができた。
- ◆ イベントでは、**下関市のゆるキャラの「こころん」**たちにも登場してもらい、ハローワークのイメージアップと下関市のアピールをすることができた。
- ◆ アンケート回答 58名 再就職準備セミナー参加 27名(子24名) 職業相談 12名 適職診断 3名



下関市のゆるキャラの「こころん」(左)たち



(再就職準備セミナーの様子)

イベントタイムスケジュール <small>子育てママはもちろんお子様ご家族と一緒に体験しませんか？</small>			
タイム	ステージイベント	ファミリーワークイベント	相談ブース
10:30	● オープニング ①ゆるキャラ	● Magic&Balloon Yoshi バルーンプレゼント ~12:30	● 就職・就活 何でも相談 ~12:30
10:50	萩原秀信さんによる ● 紙芝居	● ゆるキャラと一緒に 『チェキ』撮影会 ~12:30	● 適職診断 ~12:30
11:15 11:40	②ゆるキャラ ③ゆるキャラ	● 自分だけの トート/バッグを作ろう！ ~15:00	● ハローワーク マザーズコーナー 出張相談 ~15:00
12:00 12:20	萩原秀信さんによる ● 紙芝居 ● 豊浦コスモスまつりPR隊 とよらりフレッシュアズ ゆるキャラ大集合		

(当日のスケジュール)

<下関市コメント>

子育て女性等に対する支援は、下関市における重要施策であり、市と国が一体となって取り組むことにより、子育て支援から就業支援までを一貫して行うことで、地域の活性化に繋がっていくことを期待する。

<労働局コメント>

自治体と共同事業として実施することで、ハローワークに行くことをためらっていた方など、地域における潜在的な子育て女性等の状況・ニーズの把握ができ、ハローワークのマザーズコーナーの周知も広く行うことができた。

【長崎県佐世保市】【長崎県】【長崎労働局ハローワーク佐世保】 就労ブランクがある方へ、再就職支援合同セミナーで就活応援！！

【目的】 **出産・育児・介護等でしばらく仕事から遠ざかっている方**を中心に、再就職をお考えの方の就職活動を支援するため、市の保育情報、国及び県による再就職に関する情報提供を行うなど、女性も男性も自らの意志で社会への参画を目指す**再就職希望者向けセミナー**を開催。各機関の利活用を促進し、相互誘導等、連携して再就職支援を実施する。

【実施概要】 佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」が主催する再就職支援合同セミナーに、国（ハローワーク佐世保）、県（フレッシュワーク佐世保）が講師を担当。平成26年度は2回開催し、3部構成で講座を実施。

<第1回>

- 1部：雇用失業情勢やハローワークの再就職支援について（講師：ハローワーク）
- 2部：保育情報の提供について（講師：佐世保市子ども支援課）
- 3部：履歴書の志望動機講座（講師：フレッシュワーク）

<第2回>

- 1部：雇用失業情勢やハローワークの再就職支援について（講師：ハローワーク）
- 2部：履歴書の志望動機講座（講師：フレッシュワーク）
- 3部：面接の基本動作と模擬面接トレーニング（講師：ハローワーク、フレッシュワーク）

【役割分担】

【佐世保市】

- ◆事業の企画・広報・託児
- ◆会場の確保・申込受付

【国】 ◆講師派遣

- 【県】 ◆求職者への案内、誘導
- ◆資料、テキストの提供



【効果】 ◆定員15名

- 第1回：平成26年6月開催 参加者：12名、就職者数：3名
- 第2回：平成27年1月開催 参加者：13名、就職者数：7名（うち男性2名）

【参加者の声】

トータル（保育所・子育て支援情報、就職支援情報）な内容で、今一番悩んでいるポイントが明確になりました／行ってよかったです。書類のこと、面接のこと、なんとなく対策しようとしていたので、具体的に実践しようと思いました／保育所の活用、面接対策等今後の就職活動の参考になりました（特に面接トレーニング）／模擬面接があり、とても参考になりました／初めて参加しました。自分にとって行政の支援がわかりやすい内容で良かったです。

<佐世保市コメント>

参加者の反応は良く、再就職活動に挑む準備が出来たのではないかと思います。今後も、男女共同参画事業の一環として、国や県と連携して、再就職を希望する方々を支援するセミナーを開催したい。

<労働局コメント>

市の子育て・生活支援や広報力、県の就職ガイダンス、国の再就職支援の各情報が相乗効果を生み、不安を抱えながら社会参加を目指している方に安心して就職活動ができる支援が可能となった。